[132]

次党技相成是公公(了)还与、任先等部 铜金-上返去而三许约12:水圆细维、军士、圆籍、编名中二月百以侍一大年年,即庆华、前文即沿京至党林大臣来公第二四三一号人员本公第二四三一号、小圆田阳仟约 铜金在本,件明、小圆田阳仟约 铜金在本,件明、小圆田阳仟约 调查在本,件明,从周阳中约 调节

11

中 第一年 一九三十年一般九一年一月月一日日一十四十十十年一一月日 地本語「課長が致して居りて 流的ランテアに回放江十年間一次とか簡為東印度群島 三於2月本一成據的居動一部衛衛東印度政府公惠 1つくしたはいましてはないかいというとうとうとうしているがくだが 其籍長デラリマンと当時和顧明東印度政府東西局 日本解いるななないして、ナンナーの人。 コー都告書し一部シアリアス日本大学市ト中國大学の一直接 横属の屋に当時和は外所一分太器中一部一文書り屋果 且正確十八後本デアリテ該大書、野事ータ×草は失い文 - 核事でいいにはいてなー、デリナーの人、複雑を要の十二月 二十四日附書面下文書日第二年人國際被容部大堂日二十日 11日、同一てしい一九三八年郎が十三年一二季日カンでした 被報告書中五月二十日前書面一大書等人五年國際 横塚的大学の11に11ら)へ同一・スーへ(たいた)は一部な 十日年十二年日カントノード 松蘭國印度軍座軍中在 コンドーラー・セスシーラ (FENDELL KAMLES) MAN 一切四十年/昭初二十一年/十一月二十二日余一面前一秒十 この一次は一上田本となる一 即法教却所由一生居里米部仍免要國際軍大時 ベーナー·ナナ· FO-ATUNER D. WHITE | Bitory